



JAPANESE SOCIETY OF HIGH PERFORMANCE MEMBRANE
FOR BLOOD PURIFICATION

ハイパフォーマンス・メンブレン研究会

第34回ハイパフォーマンス・メンブレン研究会が

2019年3月9日(土)・10日(日)に

日本消防会館・ニッショーホール（東京）にて

開催されます。

当院からは臨床工学科 野口 幸 技士長が

学術発表されますので、ご紹介します。

O-05. FB-UP α eco、PES-KG α eco の臨床特性評価

医療法人一陽会 一陽会クリニック 血液浄化部¹⁾
医療法人一陽会 一陽会クリニック 看護部²⁾
医療法人一陽会 一陽会クリニック 医局³⁾
医療法人一陽会 原田病院 血液浄化部⁴⁾
○横谷 佳祐¹⁾ 中村 健一¹⁾ 小野 亮一¹⁾ 山形 智子²⁾ 山本 美由紀²⁾ 森田 直美¹⁾ 手島 和子²⁾
宮本 弘美⁴⁾ 本丸 忠生⁴⁾ 丹治 知恵³⁾ 碓井 公治³⁾

O-06. FIX-210Seco の性能評価と RLS に対する効果

社会医療法人財団 石心会 川崎クリニック 透析技術課¹⁾
社会医療法人財団 石心会 川崎クリニック 内科²⁾
○鈴木 貴大¹⁾ 荒川 遼太¹⁾ 志賀 洋一¹⁾ 下村 実咲¹⁾ 村木 愛¹⁾ 藤田 昂¹⁾ 依田 絵里奈¹⁾
三輪 直哉¹⁾ 澤田 尚之¹⁾ 芝田 絵理子¹⁾ 玉木 遼¹⁾ 佐藤 健¹⁾ 中村 賢洋¹⁾ 若狭 幹雄²⁾
宍戸 寛治²⁾

O-07. On-line HDF による Polyflux 210H(Polyflux) の性能評価

医療法人 康仁会 西の京病院 診療支援部 臨床工学科¹⁾
医療法人 康仁会 西の京病院 透析センター²⁾
○野口 幸¹⁾ 田村 尚紀¹⁾ 中川 美沙子¹⁾ 山田 早悠里¹⁾ 二神 徳明¹⁾ 山岡 みゆき²⁾
渡邊 美智子²⁾ 赤澤 愛²⁾ 吉岡 伸夫²⁾ 高比 康臣²⁾

O-08. FIX-S、FX-HDF、ポリフラックスHの後希釈における比較

特定医療法人 あかね会 中島土谷クリニック¹⁾
特定医療法人 あかね会 土谷総合病院²⁾
○西田 英樹¹⁾ 川西 秀樹²⁾ 高橋 秀宜¹⁾ 高 義尚¹⁾ 谷川 智彦¹⁾ 森石 みさき¹⁾ 土谷 晋一郎²⁾

13:30 ~ 15:20 特別セッション「透析液の水質管理（原水、排液）について」

司会：友 雅司（大分大学）

本間 崇（日本臨床工学技士会 理事長）

SS-01. 透析液水質基準 2016 のさらなる遵守を（化学汚染物質の測定的重要性）

東京女子医科大学
○峰島 三千男

SS-02. 透析装置の洗浄排水に関する東京都下水道局の対応

東京都下水道局
○三好 曜子

On-line HDF による Polyflux 210H(Polyflux) の性能評価

医療法人 康仁会 西の京病院 診療支援部 臨床工学科¹⁾ 透析センター²⁾
野口 幸¹⁾ 中川美沙子¹⁾ 田村尚紀¹⁾ 山田早悠里¹⁾ 二神徳明¹⁾ 山岡みゆき²⁾
渡邊美智子²⁾ 吉岡伸夫²⁾ 高比康臣²⁾

【目的】

Gumbro 社製 Polyflux は 3 層構造からなるポリアリルエーテルスルホンを使用したヘモダイアフィルターである。今回、高分子膜を使用した MFX-Meco(MFX)と比較検討したので報告する。

【対象・方法】

当院透析患者 10 名を対象とし Polyflux と MFX をクロスオーバーで評価した。治療条件は、QB280ml/min、QD600ml/min、QS250ml/min とした。比較検討には UN、Cre、UA、IP、 β_2 -MG、 α_1 -MG の除去量、除去率、クリアスペースとした。 β_2 -MG、 α_1 -MG、ALB 漏出量は 1 時間毎の除去量と総除去量を比較した。TMP、白血球、血小板は開始 15 分後、1 時間後、2 時間後、3 時間後、4 時間後で比較した。

【結果】

UN、Cre、UA、IP は除去量、除去率、クリアスペースで有意差は認めなかった。 β_2 -MG の除去率で Polyflux $76.4 \pm 5.1\%$ MFX $73.0 \pm 5.6\%$ ($P < 0.01$) と Polyflux が有意に高く、 α_1 -MG のクリアスペースで Polyflux $0.54 \pm 0.14L$ MFX $0.50 \pm 0.16L$ ($P < 0.05$) と Polyflux が有意に多かった。ALB 漏出量は、Polyflux がすべての時間で有意に多く ($P < 0.01$)、総 ALB 漏出量も Polyflux $0.41 \pm 0.10 g$ MFX $0.17 \pm 0.06 g$ ($P < 0.01$) と有意に多かった。TMP は、すべての時間において Polyflux が有意に低かった ($P < 0.01$)。WBC と Plt は有意差を認めなかった。

【結語】

Polyflux は MFX に比べて β_2 -MG と α_1 -MG に対して高い除去性能を有するヘモダイアフィルターであると考えられた。また、TMP を低値でコントロールし、総 ALB 漏出量を 1 g 以下で抑えられることから、ファウリングが少なく高齢者の On-line HDF にも有効な可能性が示唆された。